

金 賞

わたしとお水の大ぼうけん

田代 愛依莉

粕屋町立 粕屋中央小学校

「ふはーっ。」

今日もわたしは、お水を飲む。おいしいおいしいお水を飲む。

「ばしゃっばしゃ。」

わたしは、いつも朝起きると、顔をあらう。きれいですっきり気持ちがいい。

「あー。」

またまた今日もお風呂に入る。なんて気持ちがいいんだろう。いつも当たり前に使っているお水。いつもそばにいるふつうのお水。

そしてすっかり年月がたった。でもまだわたしは、知らなかった。

どれだけお水が大切なのか。そしてどうやってここに来てくれるのか。色んな事が分からなかった。

でもわたしは、多々良川浄化センターから浄化センターの人達がお水の事を説明をしに学校に来てお話をしてくれた。それを聞いてわたしは、水を大切にする自分と水に出会ったのだった。川の水のごみを食べるびせいぶつを見たり、水道管の大きさは、どのくらいかクラスのみんなどで考えたり、なぜトイレにティッシュを流してはいけないのか、ちゃんとお水にごみが入ってないかけんさ（水しっけんさ）もした。

とてもあつという間で楽しいひとときだった。それからわたしたちのクラスは、どんなことをすればきれいな水を守るか話し合った。水

を流しっぱなしにしない。必要な分だけお水をつぐ。どんどん案を出した。わたしもお水を守るためにずっとできるかぎりの事は、取り組んだ。

でも最近問題があった。川のお水がきたなくなってきたのだ。またきれいな川にしたいけれどそのためには、みんなのきょう力が必要。そんな時あなたは、どうする。ちよつとだけでも考えてくれるような気持ちになってくれたらとてもうれしいです。まだまだわたしたちとお水の大ぼうけんは、終わらないのであった。そして、

「ありがとう。」